

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅042-795-7361



駅デッキの改修の必要性

市議会報告の前号(9月前半号 vol.390)で報告しましたように、町田駅周辺のペデストリアンデッキは暗い、汚いと思われていることの改善を求める一般質問を行いました。

今の町田駅周辺のペデストリアンデッキができたのが1980年、今から38年前のことであり、立川・新百合丘・相模大野駅周辺の華やかさと比べようもないとする考えを町田市が持っていることは明らかでした。市長は2032年にモノレール町田方面延伸を図ることを目標にしていますが、町田市はその時期まで今の構造を改修する意図が無く、清掃を重ねる方針のみに聞こえました。



町田駅の写真(ウキペディアを使用)

それでは、今後最低14年間、あるいは16年以上の間、上記の都市駅周辺と比べて致命的な地盤沈下をすすめていくかのようだと指摘し、階下部分を含めて、「スラム的」との見方もあり、その対策として、デッキ全体の天井部分を薄水色系か、パステル系に変える方法で、多額の費用をかけずに現状と一新したものに転換できる考えを主張しました。結果、町田市は、投資的な改修も否定できないという見解を再答弁で若干示しました。

超党派でやるべき、事業の考え

多摩都市モノレール町田方面延伸促進事業に関して、その進め方に疑問を感じ、一般質問で改善を求める提案を行い、議論の結果、以下のテーマの部分の改善が図られることが約されました。

町田市には二人の衆議院議員がいますが、そのシンポジウムにおいて、小倉衆議院議員は壇上で紹介された上、挨拶をし、片方の伊藤衆議院議員は一般客席に配置され、我々市議会議員の後に紹介されていました。なぜかと問うと、市の説明では「規約で決まっている」というものでした。事前に、この規約とその会議録の全文を確認すると、最近になって、小選挙区選挙で選出された衆議院議員のみに規約が変更されていました。その後、比例代表の復活当選した伊藤議員が誕生し、町田居住の衆議院議員が2名になりましたが、後者を排除する論理の規約が維持されました。この多摩都市モノレール町田方面延伸の実現は、行政、議会、団体を通じて市民が幅広く参加した運動のもとに進められるべきものであり、私は、格差をつける論理の見直しを厳しく求め、市議会の場で行政にも方針転換を認めさせることができました。



写真は私が議長時代のシンポジウムで撮影

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート⑦ 永濱一久

伊勢原にあるこども発達支援教室アクアを訪問しました。ここでは障がいの程度にかかわらず対応が可能な個別・少人数による療育指導と認知力の向上を重視した実践型プログラムを提供するところです。

一般の放課後等デイサービス事業所とは異なっていると聞きし、子ども一人一人に応じた教育を提供することが求められるため仕事をする上での難しさを感じました。将来を形成し成長していく世代である世代を教育することは非常に責任感のある仕事であると感じました。普段はあまり関わる機会は少ないですが、マイノリティーとしばしば表現されてしまう発達障がいを持った人々に私は、マジョリティーとして社会で活躍できる整備を進めるべきであると感じ、社会人になり会社を通してできることがあれば支援をしていけたらと思います。



明治大学 3 年生 永濱一久 (第 42 期生)

* 吉田つとむのインターンシップは就業、就活を意識したものですが、仕事以外の視点、大人としてのかかわり方も重視しています。

研修レポート⑤ 林 夏碧

終日、町田議会会派室にてインターンシップを行いました。午前中は午後に行われるヒアリングに向けて、書類を確認しました。

14 時頃からヒアリングが始まりましたが、その直前には大勢の方が部屋の前にいらしたのでとても驚きました。市役所内の様々な部署から吉田議員が疑問に思っている項目について詳しい説明がなされていました。町田駅前の景観や町田市内の建物の色彩についてなど多方面に渡る質問が多く、それに的確に答えていた職員の方々が素晴らしいと思うと共に、吉田議員が街を広くかつ多くのものに焦点を当てて暮らしていることに感嘆しました。



昭和女子大学 1 年 林 夏碧 (第 42 期生)

(吉田つとむ) ヒアリングは議員が質問をして、それに役人の人が答えるのではなく、議員の質問の趣旨、あるいは特殊な語句などの確認をするために行われます。この場で議論をしても意味がなく、公の場で議論をするのが目的です。お互いに言葉を違った意味でとれないように確認をしています。

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。